



大出区安全安心なまちづくり

推進協議会だより



令和2年1月第14号

大出区民の安全意識について

箕輪町セーフコミュニティ推進協議会は、これまで2年に1回事故・外傷発生状況データで把握できない認知度・関心度の変化及び町民の体感治安についてのセーフコミュニティアンケート調査を行い各種施策に活用していますが今年の集約が公表されましたので、大出区の部分についてご紹介いたします。

安全安心の評価は時々の諸情勢により変化する部分もありますが、アンケート結果は安全安心を考えるうえで極めて参考になります。

〇令和元年のアンケート

- ・実施 令和元年8月から9月
- ・対象 町内在住の20才以上の日本国籍住民から1000人抽出
⇒回答は535人で大出区住民は48人 9パーセントでした。
- ・内容 アンケートは問29まであり、内容はセーフコミュニティを知ることができるものとなりました。
- ・分析等 回答結果については、信州大学医学部産業衛生学講座の塚原照臣教授が分析しました。

〇令和元年アンケートにおける大出区内の状況

- ・セーフコミュニティ取り組み賛成は 63.4%(平成29年)、 ⇒62.5%(令和元年)
- 分らない 30.8% ⇒35.4%
- 賛成しない 5.8% ⇒0%

以下、問と一番多い回答

- ・認知度 少し知っている 35.4%
- ・関心度 少し関心がある 43.8%
- ・安全安心 どちらかといえばそう思う 45.8%
- ・隣近所とのお付き合い ときどき 62.5%
- ・1年間でのけが ない 83.3%
- ・日ごろの挨拶 すすんで実施 56.3%
- ・夜光反射タスキ 持っていない 52.1%
- ・安全安心の知恵袋 あまり知らない 39.6%
- ・救急医療情報キット(命のカプセル) 知らない 87.5%
- ・地震対策として家具転倒防止対策 していない 68.8%
- ・地震対策として感震ブレーカー 知っている 50%
- ・町を明るくする運動 知らない 79.2%

本年も よろしくお願いたします